

助成事業実施報告書

団体名 NPO 法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会

代表者・役職名 氏名 代表理事 三松 三朗

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

有珠火山災害減災文化継承ジオツアー

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

壮瞥町や周辺自治体で推進している洞爺湖有珠山ジオパークと連携し地域文化の伝承、魅力の発信、ガイド活動や人材育成と交流の促進などを通じて地域活性化に寄与する。主に有珠山や昭和新山などに許可を得て入山し、会員や一般参加者に火山との共生や災害の備えについての学習会を定期的に開催し地域防災力を高める活動をしている。会員数は令和3年10月10日現在で168名である。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

1910年から2000年の間に4回の噴火を周期的に繰り返す有珠火山について、正しい知識を住民などに周知啓発し、備えと行動の実践につなげる社会教育活動が重要と考え、自助の精神を養い、いざという時に率先避難ができるよう地球を体感するジオツアーを通じて、楽しみながら学習し、災いを少しでも減じるための教育に貢献したいと考えた。2000年噴火の年に生まれた子供が既に成人し噴火災害や備えを風化させないために、ガイド事業を通じて繰り返し先人たちが受け継いだ「そこで何が起こり、どう行動するか」を伝承することを目的とした。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

有珠山・昭和新山などの入山禁止区域に許可を得て立入り、噴火口での温度測定や科学者や先人が取り組んだ火山観察・災害を減らすための取り組みや苦労についてガイドし、市民一人ひとりに歴史と現況を理解させるジオツアーを実施、次の噴火の兆候が示された時の率先避難者の育成を行うもの。2020年度は熊出没により熊よけスプレーなど配備して入山、2021年度はコロナ緊急事態により2回延期。昭和新山登山などを含め、合計3回減災文化伝承のためのガイドツアーを実施した。人を集める行動が批判される逆風ではあったが、危機管理教育を後世に伝えるための実施ということで、参加者に理解いただき、マスク着用や検温をおこなったうえで実施にこぎつけた。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

昨年参加したガイドは「率先避難・科学的知見に基づいたガイド・平時にこそ有事の際の備え」を説いていた。令和3年3月9日に有珠山地下で火山性地震が続発し、一時は町が騒然とした際、そのガイドが中心となり科学者と連絡を取り合い、住宅街の断層調査結果などを、逐一報告し指示を受ける行動をとった。結果的に地震が収まり、噴火にはつながらなかったが、行動を反省検証し、連絡体制の充実や、正確な情報の集約手段を確認した。当学習会はマイスター資格の講習会の側面も担っており、当講座より3名が2021年度マイスター資格を得るため受験する、火山知識について学んでいる。今後も平時はガイド、有事は行動者の繋がりが受け継がれていくものと思われる。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

火山に興味を持ち、知識を得ながら、自然の営みについて敬虔な気持ちで向き合う心を今後も伝えていく予定であるが、コロナにより先行きが見えない中、平時の観光ガイドとしての営みが持続的にできるかどうか不明。持続可能な活動として地域教育や「いつでも誰でも」説明が聞ける体制やインフラの整備(例えばガイドセンターなど)により、地域の特色を打ち出せる取り組みが必要である。また御嶽山噴火から7年、節目ごとに火山を正しく恐れることの重要性を啓発していく必要がある。2022年は有珠山の安政の大火山砕流から200年の節目の年にあたるため、入山禁止区域に特別な許可を得て学習することを内外に発信し、地域教育の貢献も果たしたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし